

さいたま市長メッセージ（令和4年1月14日）

さいたま市長の清水勇人です。

本年もよろしく願いいたします。

本市では、1月12日までの1週間で628名の新規陽性者が判明しています。前の週のおよそ12倍で、年が明けて、昨年の夏を超えるスピードで感染が再び拡大しており、自宅療養者が急増しています。

本市では、自宅療養者の健康観察や入院者の調整等をしっかりと行えるように、保健所へ更なる応援職員を配置するなど、体制を強化していきます。

加えて、発症予防効果が高まるとされている、新型コロナウイルスの3回目接種について、接種間隔を前倒しして実施しています。

高齢者への3回目接種が本格化する2月には、身近な場所で接種が行えるように、400を超える医療機関での個別接種のほか、市内10区すべてに、集団接種会場を開設します。

対象となる方には、順次、接種クーポン券を発送していきますので、多くの方に接種いただきたいと考えています。

また、インターネット予約に不安がある方を対象に、各区役所や主な公民館、一部の図書館に窓口を設置し、予約相談を行っております。さらに17日以降は、市内の商業施設にも22か所設置しますので、ぜひご利用ください。

本市は、本年も、新型コロナウイルス感染症から市民の命とくらしを守ることを最優先に、全力で取り組んでまいります。

市民の皆様は、改めて、手洗いや、マスクの着用、混雑する場所を避けるなど、基本的な感染予防策を実施していただくとともに、体調が優れないとき

は^{ひと}人との^{せつしょく}接触を^{ひか}控えるよう^{ねが}お願いいたします。

この^{なんきよく}難局を^の乗り越えるため、ともに^{がんば}頑張りましょう。